Creative Enzymes®

ネイティブポークリンロイシンアミノペプチダーゼ

Cat. No. NATE-1879

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ロイシンアミノペプチダーゼ（LAP）は、遊離アミノ基に隣接するペプチド結合を加水分解するプロテオリティック酵素です。ロイシンを含むペプチドの加水分解を迅速に触媒するため、ロイシンアミノペプチダーゼと呼ばれています。しかし、さまざまなペプチドやタンパク質のN末端に位置する他のアミノ酸の加水分解的放出も触媒します。豚の腎臓からの酵素は広く研究されています。分子量は255,000で、各サブユニットに1つの亜鉛原子を持つ4つのサブユニットから構成されています。
別名	ロイシンアミノペプチダーゼ; 9054-63-1; ロイシルペプチダーゼ; ペプチダーゼ S; 細胞質アミノペプチダーゼ; カテプシン III; L-ロイシンアミノペプチダーゼ; ロイシンアミノペプチダーゼ; ロイシンアミドアミノペプチダーゼ; FTBLタンパク質; プロテイネート FTBL; アミノペプチダーゼ II; アミノペプチダーゼ III; アミノペプチダーゼ I; EC 3.4.11.1; ロイシルアミノペプチダーゼ; LAP

製品情報

種	豚の
由来	豚の腎臓
形態	硫酸アンモニウム
EC番号	EC 3.4.11.1
純度	90%（ビウレット）
活性	>100 U/mg タンパク質
溶解度	蒸留水または希釈バッファーに可溶
単位定義	25°C、pH 8.5で1分あたり1マイクロモルのL-ロイシンアミドの加水分解を触媒する酵素の量。

保管・発送情報

保存方法	4°Cで保存すると安定しています。凍結しないでください。